

**製品名: APOBEC3A ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07023**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	26kDa

**抗原情報**

遺伝子名	APOBEC3A
別名	APOBEC3A; Probable DNA dC->dU-editing enzyme APOBEC-3A; Phorbolin-1
遺伝子 ID	200315.0
SwissProt ID	P31941
免疫原	抗血清はヒト APOBEC3A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 27-76

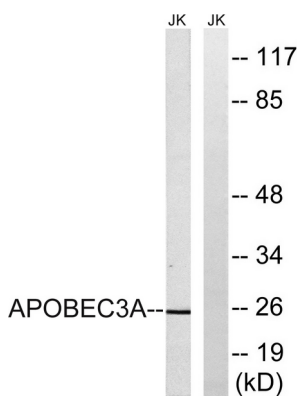
**背景**

この遺伝子はシチジンデアミナーゼ遺伝子ファミリーのメンバーです。これは、22番染色体上の遺伝子重複に起因すると考えられるクラスターに存在する7つの関連遺伝子または擬似遺伝子の1つです。クラスターのメンバーは、CからUへのRNA編集シチジンデ

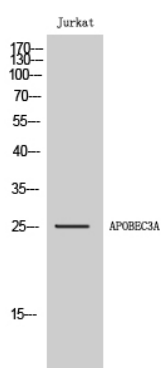
アミナーゼ APOBEC1 と構造的および機能的に関連するタンパク質をコードします。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、他のファミリーメンバーのような亜鉛結合活性を欠いています。このタンパク質は、ウイルスなどの外来 DNA の伝播を制限することで免疫の役割を果たします。外来 DNA の伝播を制限するメカニズムの1つは、外来二本鎖 DNA のシチジンをウリジンに脱アミノ化し、DNA を分解することです。しかし、抗ウイルス効果はデアミナーゼ活性に依存しないことから、他のメカニズムも関与していると考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つっています。 [提供 b 補因子: 亜鉛。] 機能: 少なくとも RNA 分子 (単量体ヌクレオシド基質または合成アポ B RNA 鋳型) に対してはシチジンデアミナーゼ活性を欠く。 in vitro において HIV-1 の感染性を低下させることはできない。] その他: 22 番染色体上の遺伝子重複に起因すると考えられるクラスターに存在する 7 つの関連遺伝子または擬似遺伝子の 1 つである。] 類似性: シチジンおよびデオキシシチジル酸デアミナーゼファミリーに属する。] 組織特異性: 末梢白血球およびケラチノサイトで発現する。]

## 研究分野

## 画像データ



APOBEC3A 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーン  
は合成ペプチドでブロッキングされている。



APOBEC3A ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析